



ある森との出会い。

T H E W O O D S O F K I R A R A

緑がきらめく
水がきらめく
生命がきらめく

きららの森

設楽町

きららの森について、お話しさせてください。



名古屋から2時間。 都会からいちばん近い原生林の楽園。

深呼吸をすると、あふれる森の香りで心が洗われる。そんなやすらぎのときを与えてくれる「きららの森」。大自然の恵みに満ちたこの悠久の森は、愛知県北東部の設楽町にあります。設楽町は中部山岳の一部、木曾山脈・赤石山脈の南端に位置。周囲には基盤石山や大鈴山など800~1,000m級の山々がそびえ、天竜川・矢作川・豊川の三大水系の水源地帯ともなっています。天竜奥三河・愛知高原国定公園、段戸高原県立自然公園に囲まれた風光明媚な地で、特に自然の姿を残しているのが段戸裏谷原生林。ブナを主体とする天然林で、設楽町の素朴で雄大な自然の象徴であり、「きららの森」として人々に親しまれています。

「きららの森」は、名古屋、豊橋、浜松など中部圏主要都市から日帰りできる位置にあります。ビルやアスファルトに囲まれ、自然とは疎遠な生活をおくる都会人にとって、実に気軽なリラクゼーション・ゾーン。雄大な自然が手付かずのままに残り、森林浴やバードウォッチングなどが心身をリフレッシュさせてくれるでしょう。緑は現代人にとってかけがえのないもの。わたしたちに安らぎと潤いを感じさせてくれる貴重な自然の楽園が、意外と身近にあるのです。



ホオジロ



ムカシトンボ



森の持つ大いなる力は、 私たちの想像を遥かに凌ぐ大地の系譜。

学術的・社会的にも貴重なブナ原生林の存在価値。

「きららの森」と呼ばれる段戸裏谷原生林は、愛知県内で最大級の規模を誇る、太平洋型に属するブナ林です。200年以上のモミヅガなどの常緑針葉樹に、ブナ・ミズナラなどの落葉広葉樹を交えた巨木がそびえるこの天然林は、大正初期に考証林として約700畝が保護され、昭和25年にはその一部が学術参考保護林として指定を受けました。環境庁による第1回自然環境保全調査（昭和50年）でも、原生林一帯約1300畝が、自然度の最も高い特定植物群落として指定されるなど、学術的にも大変貴重な原生林となっています。この他愛知高原国定公園（第1種、第2種）、保健保安林、鳥獣保護区、国有林（風致保護林）などにも指定

さらに、原生ブナ林は大地に染み込んだ水を大量に保ち続けるということから、別名「緑のダム」と呼ばれています。特に段戸裏谷原生林は他の森林に比べ保水力に優れていることから、産業や生活の面からも大変貴重な存在といえるでしょう。きららの森は、豊かな自然のやすらぎをわたしたちに与えてくれるだけでなく、学術的・社会的にも大変価値が高く、それだけに次の時代に残し、守り続けていかなければならないものです。



ミドリヒョウモン



モリアオガエル



●きららの森 散策コース

段戸湖を起点に「きららの森」をゆっくりとひと回り。森林の香りを胸いっぱい満喫できる散策コースが設けられています。散策路に沿った木々には名前がプレートがかけられており、またあちこちに休憩のスポットも用意されています。双眼鏡を片手に野鳥たちの姿を追いかけたり、自然そのままの原生林や湿原に生える貴重な植物を観察したり…。あなたの思い思いの方法で、「きららの森」の魅力をお楽しみください。



EXPRESSION OF KIRARA



ウン



スミナガシ



バイケイソウ



ギンリョウソウ



カッコウ



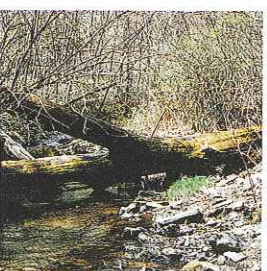
アサギマダラ



ミツハツツジ



イカル



ヤマトリカブト

『きららの森の四季。』



そこに見るのはやすらぎかも知れない。
あるいは驚きかも知れない。

常緑針葉樹と落葉広葉樹が織り成す、大自然のハーモニー。
そこには野鳥や小動物、昆虫などのさまざまな命が息づいています。
森のあちこちで、四季折々に多彩なドラマが生まれ、
美しく、感動に満ちたストーリーが奏でられています。

春

SCENE

雪解けのせせらぎが春の訪れを告げ、澄んだ水がひざしにきらめく季節。草花が芽を出し、大地にあらゆる生命が目覚めるときです。早春にはマンサクの花、そしてブナが芽吹き、やがてオオカメノキの花を咲かせます。原生林を散策すれば、新鮮な生命の息吹を感じ、ありのままの春の表情を楽しむことができます。自然が心身をリフレッシュさせてくれます。



【春に出会う動植物】

●マンサク ●オオカメノキ ●ブナの芽



【夏に出会う動植物】

●オオルリ、キビタキ、コマドリ ●蝶、カミキリ、トンボ
●モリアオガエル、サンショウウオ ●アマゴ ●ウサギ、リス

新緑がまぶしい初夏は自然観察のベストシーズン。「きららの森」は年間90種類もの野鳥が棲息する県内有数の探鳥地。コマドリ、オオルリなど多彩な野鳥たちに出会えます。また、モリアオガエルやアマゴ、さらに生きている化石と言われるムカシトンボ、天然記念物のヤマネなど希少動物に出会うことも。森林浴やバードウォッチング等を楽しみながら、生命の輝きにふれることができます。

夏

SCENE

秋

SCENE

爽やかな風が森に落ち着きを運ぶ季節です。樹々はしだいに色づき、自然が描き出す鮮やかな景観は季節の深まりや、生命の力を実感させてくれます。美しい紅葉を満喫しながらの散策は、自然の豊かさにふれる、やすらぎとゆとりのひとときといえるでしょう。山々と、動植物たちと出会い、自然の奥行きを楽しむことができます。



【秋に出会う動植物】

●コンジキ、リンドウ



【冬に出会う動植物】

●シジュウカラ、コガラ、テン

雪景色の原生林。ウサギやキツネの足跡が燐とした空気に温かさを伝えます。木々、花、せせらぎ…一面の銀世界に、動物たちは息をひそめ、静かに春を待ちながら森に棲んでいます。ほのかなひざしの中で、木の枝から顔をのぞかせるシジュウカラ等に出会うことも。自然の懐の深さ、そして生命のたくましさを感じさせてくれるでしょう。

冬

SCENE

きららの森を訪れるあなたに、お願いがあります。

「きららの森」を訪れるとき、きっとあなたはその自然の美しさに心を奪われることでしょう。そして同時に、この森が本当に自然のままに保たれていることにお気づきになるはず。"ゴミがひとつも落ちていない森"。あなたがもし「きららの森」にお越しになるなら、この貴重な自然をどうかこのままの美しさで守っていくことにご協力をお願いします。また「きららの森」は国有林に指定されているため、森の周辺でのキャンプも禁止されています。

どんなに性能の優れた双眼鏡を持っていても、鳥たちを驚かせたりするような人の前には、野鳥は決して姿を現してくれません。自然はあなたが思いやりの心で接するとき、きっとあなたの想像を上回るほどの素晴らしい感動を与えてくれるでしょう。「きららの森」であなたが感じる緑のやすらぎを、どうか次の世代の人々に受け継いでいきたいと私たちは願っています。ひとりでも多くの人に「きららの森との出会い」を広げるために…。



シジュウカラ



段戸湖



アマゴ



●きららの森への行き方

名古屋から車でわずか2時間あまり。高速道路を使えば関東・関西からでも簡単に「きららの森」を訪れることができます。また面する道路から、歩いてすぐ森の中に入ることができるため、より気軽に散策を楽しんでいただけます。

名古屋	JR・名鉄50分	豊橋	豊橋バス、タクシー120分 又は徒歩	きららの森
名古屋	自動車60分	足助	自動車90分	
浜松	R153	本長篠	自動車50分	
飯田	自動車90分	稲武	自動車30分	
飯田	R257		R257	
飯田	自動車60分		自動車30分	
	R153		R257	



お問い合わせは

設楽町役場企画課

〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字居立2

TEL (0536) 62-0511(代) ホームページ <http://www.town.shitara.aichi.jp> E-mail kikaku@town.shitara.aichi.jp

●監修 設楽町文化財保護審議会委員 原田猪津夫(前) 竹下 工(現)